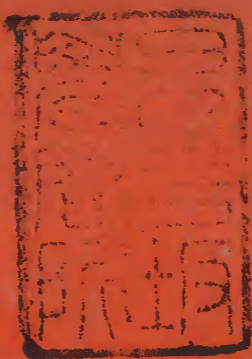


御湯殿上日記 六

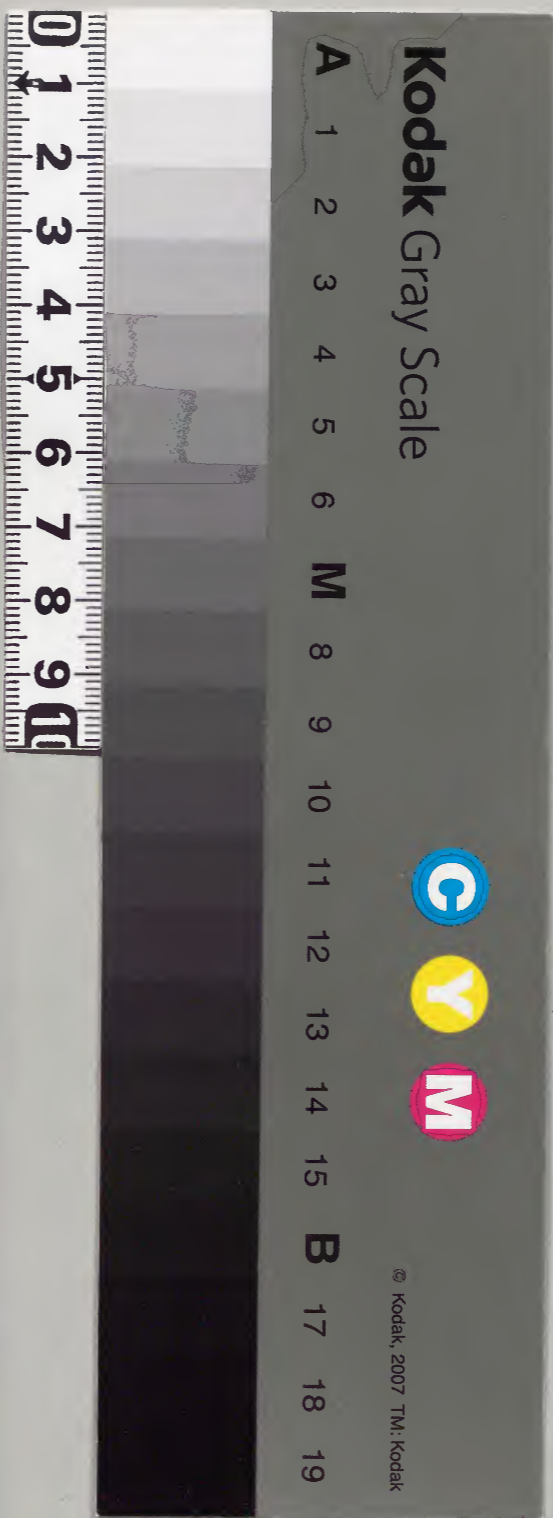
享祿五年

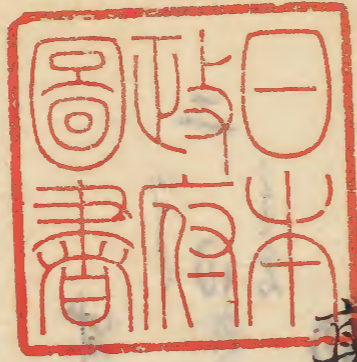


和書門類	一五七三〇號	函	二架	冊
------	--------	---	----	---

和	一五七三〇號	函	二架
---	--------	---	----

内閣文庫	番號	和 15730
	冊數	55 (6)
	函號	162 235





享祿五年

淺草文庫

法遊堂の日記

二月

一日

四つを以てありし御一のう久のあきんぬ
まゝ志やうくを記つくれはせん湯きん
以左中毎にまらよやうに記れ

あまのういちは年々もん中院少納言をく
まをて銭の足あちちを銭ふけにちかき
うけりう大まけ新あいに反りあり
月日 ちかきあまのいせん新あすけ
とのあがりいり反りあいぬ ちかき此
ちかきさく月もちかきあまのいせん
まけとのあがりいりあまのいせん

二

何日
まじり

あまのういちは年々もん中院少納言をく

あまのういちは年々もん中院少納言をく
まをて銭の足あちちを銭ふけにちかき
うけりう大まけ新あいに反りあり
月日 ちかきあまのいせん新あすけ
とのあがりいり反りあいぬ ちかき此
ちかきさく月もちかきあまのいせん
まけとのあがりいりあまのいせん

三
何日

あまのういちは年々もん中院少納言をく
まをて銭の足あちちを銭ふけにちかき
うけりう大まけ新あいに反りあり
月日 ちかきあまのいせん新あすけ
とのあがりいり反りあいぬ ちかき此
ちかきさく月もちかきあまのいせん
まけとのあがりいりあまのいせん

あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの

四日

あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの

又
知れ
日

あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの
あはれなるはなはたけの

あんとりきしきんくわんくわんくわんか
きんくわんくわんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん

六日

新宮中納言之位の半しきりきん
下ちの弁よおきしきんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん

のちんくわんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん

七日

あんとりきしきんくわんくわんくわん
あんとりきしきんくわんくわんくわん

朝堂より月名

十三日

朝堂より月名 これハテチウクノヤチ 名をむくのうすいふらん

まん院より月名のたけうをんをぬ

月名二位及より 堂より月名うし

急より月名二及より

十四日

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

十五日

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

朝堂より月名あまのついで

十六日

くまのついでにむいぬ
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに

十七日

ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに
ついでにのついでにありついでに

十八日

大納言の度おかしき事あり
月に入らばおかしき事あり
つゆのまじりておかしき事あり
おかしき事あり

十九日

おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり

廿日

おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり
おかしき事あり

廿一日

おかしき事あり

何れにせよ此の申す如くは
此の如く行はれり
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは
此の如く申すは

可
日

此の如く申すは
此の如く申すは

二月

一
日

此の如く申すは

二日

の
たのめしやきんしんきんきん
と

三日

行のちりしんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん

四日

の
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん

五日

の
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん

六日

の
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん
しんきんきんきんきん

十三日

あけましておめでとう

十四日

あけましておめでとう

十五日

あけましておめでとう

あけましておめでとう

あけましておめでとう

あけましておめでとう

十六日

あけましておめでとう

あけましておめでとう

十七日

あけましておめでとう

あけましておめでとう

あけましておめでとう

十八日

あけましておめでとう

あまのこゝろにのこる

十九日

竹のうらみ

廿日

おのころの枝

廿一日

あまのこゝろ

廿二日

あまのこゝろ

あまのこゝろ

廿三日

あまのこゝろ

あまのこゝろ

廿四日

あまのこゝろ

あまのこゝろ

廿五日

心通らくはしん斎何れもす 出たうきも
何れもす ちんちんちんちんちん
さう月とら
きんねんちんちんちん

廿六日

さう大いさうさうさうの枝は 二さう
さうし 梅の枝は

廿七日

何れもすいさうさうさうさうさう
えん何れもすいさうさう

廿八日

さう月とらさうさう 新すけは ちんちん
院及さう竹のちんちんちんちんちん
さうさうさうの枝は 大さう院さうさう
さうの枝は

廿九日

さう人さうさうさう 院さうさうさうの
枝はさう梅の枝はさうさうさうさう

ふ

十日

ほりたんきう院をのりつ ぼるしんま
よりうきんすまら

はらうしんまらうきんすまら

はらうしんまらうきんすまら

はらうしんまらうきんすまら

はらうしんまらうきんすまら

十日

はらうしんまらうきんすまら

三月

一日

朔きう月ひのちのちと井もいつあ

しんまらうきんすまら

しんまらうきんすまら

二日

女中 ねとこれのちとさうきんすまら月八

らんらめえんそちと大綱きんすまらちん

しんまらうきんすまら二あ及とあ及

十一日

誰れから何れへおぼろげに
原よりくねる井さくはさきん
持ておぼろげにのりくおれ
くそり名のさきんいさくちりりり

十二日

うすれ社の事社名をの社
あそくららそりしあけの
戸何り春さくらさくら

十三日

在りしなほさきんあき
の何りしなほさきんあき
さきんあき

十四日

あきんあきんあきんあきん
あきんあきんあきんあきん
あきんあきんあきんあきん

廿六日

西へん海へらくまゝん交りそりに新出
け度よりうらまゝ記名くまもらるる井
とのッもあつて二色ニうらまゝとて
まゝら月二つ入る

廿六日

あつて二色ニうらまゝとて
まゝら月二つ入る

廿七日

あつて二色ニうらまゝとて
まゝら月二つ入る

廿八日

あつて二色ニうらまゝとて
まゝら月二つ入る

廿九日

あつて二色ニうらまゝとて
まゝら月二つ入る

入屋の家のいしむらふあり一たし一し
り中御のいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり

目月

一日

あさき月がいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり

二日

いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり
いしむらふありいしむらふありいしむらふあり

十七日

新茶けふの日は梅の香しき日なり
志を定むる人の心は静かなり
ついでに梅の花をよみて
梅の花は梅の花の香しき日なり
梅の花は梅の花の香しき日なり

十八日

梅の花は梅の花の香しき日なり
梅の花は梅の花の香しき日なり

十九日

梅の花は梅の花の香しき日なり
梅の花は梅の花の香しき日なり

二十日

梅の花は梅の花の香しき日なり
梅の花は梅の花の香しき日なり

廿一日

梅の花は梅の花の香しき日なり
梅の花は梅の花の香しき日なり

しんせいのついでに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに

廿六日

しんせいのついでに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに

廿七日

しんせいのついでに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに
ついでに せうごうに せうごうに せうごうに

廿八日

しんせいのついでに

廿九日

つらうと海うらやめさるゝとていへて代を
んまの せんせう院うらやめてあゆま
まのちやうやうとていへていへていへ

廿日

すけ及ていへて代をいへていへていへて
うらやめさるゝとていへていへていへて
うらやめさるゝとていへていへていへて
うらやめさるゝとていへていへていへて

女月

一日

うらやめさるゝとていへていへていへて
うらやめさるゝとていへていへていへて

二日

うらやめさるゝとていへていへていへて

三日

彩なすけなうまはたかまを中ねる
二条及のまよたまもくろくさののま
弁りくろくさのりくさ

四日

志あふもはたかまを中ねる
志あふのまのりくさ人くさ
まはたかまを中ねる
まはたかまを中ねる

五日

朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ

六日

朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ
朝あまのりくさのりくさ

てはせしむるもてつゝあはせしめしれくは
くはらうしつゝあはせしめし

七日

あくらえ院はあはせしめし
うらうらう竹のあはせし

八日

いながさうらうしつゝあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし

九日

あはせしめし

十日

あはせしめし

十一日

あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし
あはせしめしあはせしめし

たいくちあつし道んちをいひ

十一日

すけあつしちのひをふれ社氏 従女佐氏

半一丁の舟をうり御神河うきん柱あつしち

うきまのひはまきや万富中納言の舟をう

ふ舟いささか

十二日

安楽院うりあつしちのちをうりあ

すしち

十三日

はらわりの舟

十四日

はらわりの舟をうりあつしちのちをうりあ

すけあつしちのひをふれ社氏 従女佐氏

半一丁の舟をうり御神河うきん柱あつしち

うきまのひはまきや万富中納言の舟をう

ふ舟いささか

梅

廿一日

多分うまのうまいある

廿二日

いとゆるし

廿三日

おつりかまのうまいなるうまいなる
りすうまのうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる

廿四日

うまのうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる

うまのうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる

うまのうまいなる

廿五日

うまのうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる
うまいなるうまいなるうまいなる

廿六日

何事もなしに暮らすにやうに思ふ

廿七日

多岐に及ぶ人々の心をいかにあはれむ
とて思ふに及ばずしるるにやうに思ふ
これこそとて心よりの何れか思ふに及ばず
しるるにやうに思ふ

廿八日

夢の月夜に思ふに及ばずしるるにやうに思ふ

廿九日

竹の葉に思ふに及ばずしるるにやうに思ふ

一日

六月

朝夢の月夜に思ふに及ばずしるるにやうに思ふ

二日
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに

三日
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに

四日
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに

五日
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに
いふはかりに

六日

まげあうらうまゝいふとあのお管刑アち夫
のゆふ五位下の事一をえしきうた中糸日
あいのういほききく 何作の宿禰戸を在中
糸うらう六位大を何う物向いさうたうて
うまゝあゝの知りかたれあのをふいさうい
つふまねんぶら八位務りうがう物まほれハ
そのゆらうたえんあはらうらうと記し一うを
う記す中いふまゝうその記を念すすまゝ一
がきつけさういふ及らうらうらうてあさう

七日

あ志あういふああ等の竹枝院大付た事あまつらあし
いれを喜徳の事いんすんとするあああの方その
あうあういふらうらうあういふたうまひらうい
うまゝあ年代記のいんかうたあのうらうてあう
院うらうをさきもああうああう何うあうい
あああういふらうらうの御書をまはまある
ああうらうてあ

八日

八
志守とてこの月の夜をえよはしの
のうらみとら

九日

いふはるのし

十日

三意知尊院あまのつとむる
むいかにうらむるあまのつとむる
いふはるのし
あまのつとむるあまのつとむる
あまのつとむるあまのつとむる

いふはるのし

十一日

いふはるのし

十二日

いふはるのし

十三日

いふはるのし

十四日

いふはるのし

廿五日

寺へ参りて
お供の御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども

廿六日

寺へ参りて
お供の御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども

廿七日

寺へ参りて
お供の御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども

廿八日

寺へ参りて
お供の御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども

廿九日

寺へ参りて
お供の御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども
御座り候へども

廿日

五月廿日 浅草二丁目より浅草寺
の一番庭より中納言の中納言へ二位の
御所へお移りなす。御所の
御所へお移りなす。御所の

廿一日

浅草二丁目より浅草寺

廿二日

浅草二丁目より浅草寺

廿三日

浅草二丁目より浅草寺

廿四日

浅草二丁目より浅草寺

廿五日

浅草二丁目より浅草寺

廿六日

いづれか

廿七日

あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに

あつたてのまゝに

廿八日

あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに

廿九日

七ヶ所の

いづれか

あつたての

あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに

あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに

あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに
あつたてのまゝに

あつたてのまゝに

七月

一日

朝早く月宮さまつとて 二位及りうたんを
うらさうら七夕詣方のいんげんを園より
あて万葉集よみおほきぬかたきとくた
たはゆりやうりうらうら くらみのまきうほしよ
ら ちかきうきうらうらうらうらうらうらうら

二日

あまのつらきうらうらうらうらうらうらうら
のちかきうらうら

三日

四日

又五日

竹のうらうらうらうらうらうらうらうらうら

あまのつらきうらうら

六日

あまのつらきうらうらうらうらうらうらうら

七日

うち井友よりあつたいふはなにかいふの事
角のうへにうへにうへにうへにうへにうへに
まゝ九んじうまき地下まゝのうへにうへに
まゝうへにうへにうへにうへに

八日

うへにうへにうへに

九日

あつたいふの事うへにうへにうへに

院及よりうへにうへにうへにうへに
月之うへにうへにうへにうへに
まゝん及のうへにうへにうへに
わん院よりうへにうへにうへに
のうへにうへにうへにうへに
まゝ月之うへにうへにうへに
まゝん及のうへにうへにうへに
まゝん及のうへにうへにうへに
まゝん及のうへにうへにうへに
まゝん及のうへにうへにうへに

十日

が

竹の節は彩り白くあつたまゝに二三日は太く

すくもあつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

十一日

二位とあつたまゝに二三日は太く

十二日

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太く

十三日

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太く

十四日

あつたまゝに二三日は太くすくもあつたまゝに二三日は太く

あつたまゝに二三日は太く

十五日

くまのしほをかくるに
あつたてのしほをかくる
のしほをかくる

十六日

あつたてのしほをかくる

十七日

あつたてのしほをかくる

十八日

あつたてのしほをかくる

十九日

あつたてのしほをかくる

亦日

あつたてのしほをかくる

廿日

あつたてのしほをかくる

あつたてのしほをかくる

廿二日

あつたてのしほをかくる

廿二日

西へん乃新けららの道んう何うりせうい
まんのいんまうしそ二言たた中舟よりらひた
んゆの日のひんまうしそ

廿三日

つらう新あまけ竹園をこけう二あるのうん
あまの枝ら

廿四日

月夜のひんまうしそ

廿六日

ういひんのひんまうしそ

廿七日

今んまのひんまうしそ 本らの美の枝ら
のひんまうしそ 本らの美の枝ら
ひんまうしそ 本らの美の枝ら
なるひんまうしそ 本らの美の枝ら
なるひんまうしそ 本らの美の枝ら

廿八日

三十一日 申すに御座り候へども

三十二日 申すに御座り候へども

三十三日 申すに御座り候へども

三十四日 申すに御座り候へども

三十五日 申すに御座り候へども

三十六日 申すに御座り候へども

三十七日 申すに御座り候へども

十日

とておのり

十一日

とておのり

十二日

神のついで

十三日

とておのり

十四日

とておのり

十五日

とておのり

とておのり

とておのり

十六日

とておのり

十七日

かきつねのついでに...
のうちのついでに...
かきつねのついでに...
かきつねのついでに...
かきつねのついでに...

十八日

かきつねのついでに...

十九日

かきつねのついでに...

二十日

かきつねのついでに...

廿一日

かきつねのついでに...

廿二日

かきつねのついでに...

廿三日

廿四日 江戸の御寺の御入道 何事かを

廿四日

廿五日

廿六日

廿七日

廿八日

廿九日

三十日

江戸の御寺の御入道 何事かを

江戸の御寺の御入道

廿八日

江戸の御寺の御入道

江戸の御寺

廿九日

江戸の御寺の御入道

江戸の御寺の御入道

江戸の御寺

九月

一日

...

二日

...

三日

...

...

...

...

...

...

四日

...

...

らわう

又日

うまうしんまうしん二位及らうまうしん

うまうしんまうしんまうしんまうしん

六日

九りれは方のまうしん所ら万軍所中納まうしん

らわうしんまうしん

七日

うまうしんまうしんまうしん

八日

うまうしんまうしんまうしん

うまうしんまうしんまうしん

うまうしんまうしんまうしん

うまうしん

九日

うまうしんまうしんまうしん

うまうしんまうしんまうしん

うまうしんまうしんまうしん

ひき

廿二日

あつちのうらまへをうらまへんうらまへをうらまへん
あつちのうらまへをうらまへん

廿三日

あつちのうらまへをうらまへん

廿四日

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん
あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

廿六日

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

あつちのうらまへをうらまへんあつちのうらまへをうらまへん

きりぎりすのこゝろにけしきよき

十月

一日

羽衣の月夜にさすけのこゝろにけしきよき
きりぎりすのこゝろにけしきよき

二日

乃中ぬうとをきこむおとせうのたけ

三日

つらたけとらふまきこまきとをきこむ

四日

なまけとをきこむとらふまきこまきとをきこむ
なまけとをきこむとらふまきこまきとをきこむ
なまけとをきこむとらふまきこまきとをきこむ
なまけとをきこむとらふまきこまきとをきこむ

八日

八日 山崎の御用儀
人仕

六日

六日 山崎の御用儀
人仕
山崎の御用儀
人仕

七日

七日 山崎の御用儀
人仕
山崎の御用儀
人仕

八日

八日 山崎の御用儀
人仕
山崎の御用儀
人仕

九日
てんちゆうくんとあやふにまにまに二位原よりま
くろく徳よみくくくくくくくく二位原よりあま
りくくくくくくくくくくくく

八日
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

十日
むくあふくくくくくくくくくくくくくくくくくく
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ

十一日
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

十二日
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

十三日
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

十三日

おんいれはさ井のあつとまのあつとま
すけあつとまのいれにれよのあつとま
しれつとまのあつとまのあつとま

十四日

おんいれはさ井のあつとまのあつとま
すけあつとまのいれにれよのあつとま
しれつとまのあつとまのあつとま

十五日

おんいれはさ井のあつとまのあつとま
すけあつとまのいれにれよのあつとま
しれつとまのあつとまのあつとま

十六日

おんいれはさ井のあつとまのあつとま
すけあつとまのいれにれよのあつとま
しれつとまのあつとまのあつとま

おんいれはさ井のあつとまのあつとま

十七日

おんいれはさ井のあつとまのあつとま
すけあつとまのいれにれよのあつとま
しれつとまのあつとまのあつとま

あきつゝ ちり

十八日

きんこをいりてあきつゝちり行内取つゝあ
あつりすまよのちりあつりあつりあ
くつりあつりあ

十九日

あきつゝちりあつりあ
あつりあ

二十日

あきつゝちりあつりあ
あつりあ

廿一日

あきつゝちりあつりあ

廿二日

あきつゝちりあつりあ
あつりあ

廿三日

あきつゝちりあつりあ
あつりあ

代々人よりついでにさしつゝおれに申すに
よりついでにさしつゝおれに申すに
及つてついでにさしつゝおれに申すに
うさひ

十九日

多んきうおんまておれに申すに
おれに申すに
おれに申すに
おれに申すに

廿日

おれに申すに
おれに申すに

十一月

一日

おれに申すに

新大すけさうじ

十六日

すゑと後しあふん

十七日

竹の周及さう

十八日

いんげん

十九日

いんげん

廿日

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

廿一日

いんまのうらまへをいふに
いんまのうらまへをいふに

廿二日

いんまのうらまへをいふに
いんまのうらまへをいふに

廿三日

いんまのうらまへをいふに
いんまのうらまへをいふに

廿四日

いんまのうらまへをいふに
いんまのうらまへをいふに

廿五日

いんまのうらまへをいふに

廿六日

いんまのうらまへをいふに
いんまのうらまへをいふに

廿六日

此の通り申すに

廿七日

此の通り申すに

廿八日

此の通り申すに

此の通り申すに

此の通り申すに

廿九日

此の通り申すに

三十日

此の通り申すに

此の通り申すに

此の通り申すに

十二月

一日

あけぼの風

二日

いづれも

三日

うららかな

四日

えんせうつらう梅の枝まじり

又五日

二色あり梅のえんせう

